

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、コンサート開催を中止させていただく場合がございます。中止の場合は、ホームページ上にてお知らせします。なお、コンサート実施に際しては以下の点について皆さまのご協力の程お願い申し上げます。

- 風邪などの症状、発熱等がある場合はご来場をお控えください。
- 会場内に設置する手指用の消毒液をご利用ください。
- 会場内ではマスク着用など感染症対策へのご協力をお願いします。

石橋文化センターミュージアムコンサート ～ インタラクティブコンサート ～

インタラクティブ(interactive)とは「対話型」という意味があり、
今回のコンサートであれば、会場の皆さまの選択によって曲目が自由になるコンサートです。
当日は、プロジェクターから映し出された映像をご覧になっていただき、ナビゲートしていきます。
1度限りのコンサートを皆さんと一緒に作り上げていきます。



松坂 奏輔
〈ヴァイオリン〉
Sosuke Matsuzaka

5歳よりヴァイオリンを始め、「全日本学生音楽コンクール」などのコンクールに入賞。1997年よりベルギーに渡りブリュッセル、ルーヴェンにてヴァイオリンを川口エリサ氏に、室内楽をルール・ディルティンス、エティエヌ・シーベンス、ライナー・ホフマンの各氏に師事。

2000年にはニューイヤーコンサートにてレメン・インスティテュート室内オーケストラとの共演他、多数のオーケストラのソリストを務め、「熱い音楽性と最高のテクニック」「心に語りかけるブリリアントな音色を持つ、才能溢れるヴァイオリニスト」(ノルドホルンズ・ダハブラッド紙)等と様々なメディアから、国際的な高い評価を得る。

その後もヨーロッパで高い評価を受け、数々のコンサートに参加。2008年より、活動拠点をヨーロッパから日本へ移し、日本国内外問わず、公演多数。オーケストラとの共演、室内楽の演奏活動、TVやラジオ出演、講演等、その活動は多岐にわたり、ピアニストであり、パートナーでもある、徳あおい氏と「ヴァイオリンとピアノの珠玉のデュオ」と題し、活動を行う。



徳 あおい
〈ピアノ〉
Aoi Toku

鹿児島県出身。武蔵野音楽大学に於いて、田代慎之介、A・ナセトキン両氏に師事。ピティナピアノコンペティションF級地区本選第一位、全国大会出場など数多くのコンクールに入賞。

武蔵野音楽大学を優秀な成績で卒業後、1998年、北九州芸術祭にて大賞受賞。ベルギー「アルデンビーゼン古城音楽祭」に招聘され演奏、好評を得る。また同年、宮内庁主催の桃華楽堂演奏会での御前演奏に出演。

1999年よりフランクフルト国立芸術大学(ドイツ)にてピアノをヘルベルト・ザイデル、室内楽をライナー・ホフマンの各氏に、またアムステルダム音楽院(オランダ)ではヴィレム・プロンズ氏に師事。

2003年にフランクフルト国立芸術大学を優秀な成績で卒業。

これまでに「アントワープ国際」(ベルギー)、「ポツォーリ国際」、「コモ湖国際」(イタリア)ピアノコンクールにてそれぞれ上位入賞後、ヨーロッパ全土で活発な演奏活動を行い、現在は国内でソロ、室内楽の分野に於いて幅広く活躍中。

PTNA全日本ピアノ指導者協会正会員。



森口 洋輔
〈ホルン・ナビゲーター〉
Yosuke Moriguchi

福岡県出身。デンマーク王立オーフス音楽院修士課程修了。Master of Musicを取得。これまでにホルンを清水万敬、ヤコブ・カイディング両氏に師事。マスタートークラス等では西條貴人、水野信行、ナイジェル・ダウニング、ジョナサン・リプトン各氏等のレッスンを受講。2007～2009年オーフス交響楽団(王立)、ラナース室内楽団で客演ホルン奏者として演奏活動を行い、2009年にホルンリサイタル(オーフス市:デンマーク)を行う。

帰国後から指揮者としても活動をおこなっており、ダグラス・ポストック氏に指揮法を学ぶ。2016年西南学院大学創立100周年記念演奏会にてG・マラー「交響曲第2番」の副指揮者を務める。福岡県内の大学ではこれまで、福岡学生シンフォニーオーケストラ(福岡5大学)を始め、九州工業大学、西南学院大学、福岡大学、福岡教育大学で、指揮者や金管楽器、ホルンのトレーナーを務める。

2015年に森口音楽事務所を立ち上げ、2019年「エム出版」を設立し「ホルン奏者のためのハンドブック」を執筆、出版。2020年春から蔓延したコロナ自粛による活動制限の中、芸術総合制作会社として2021年8月24日(株)アーツパティ創業。同年10月31日にプロアーティスト団体「オーケストラ・アンサンブルカレ」を創設し、同年12月に創業記念公演を総合制作/指揮者として開催。2022年度は福岡・熊本の自主公演を開催予定。

現在、(株)アーツパティ代表取締役。平成音楽大学ホルン科講師。

(所属団体:ホルン奏者)九州管楽合奏団、コンセール・エクラン福岡、久留米市連合文化会ステージ部。



正二郎の歩みや人となりを紹介している石橋正二郎記念館。その絵画展示コーナーでは石橋財団コレクションのなかから現在、黒田清輝と藤島武二の作品を4点展示しています。

久留米市美術館休館中はこの記念館で講座などさまざまなイベントを行います。それらをまとめて、文化センターのペリカン噴水にちなんで「ペリカンくらぶ」と名付けました。

※久留米市美術館は搬出入口等整備工事のため2022年10月28日まで休館します。



藤島武二《五剣山の日の出》1932年
石橋財団アーティゾン美術館蔵